

## 町長室から

田上町長 佐野 恒雄

梅雨明けを控え、時折見れる青空に夏の訪れを感じる季節となりました。

早いもので、もう7月かと。月めぐりカレンダーもあと六枚を残すのみとなりました。そんな感じ方をするのも、歳を重ねたからでしょうか。若かった頃と、歳を重ねてからは、全ての人に平等に与えられている時間であつても、時間の感じ方に大きな違いがあることはよく言われることです。まだ六枚、あと半年もあるのかと感じる人もいれば、私などは、もう残り六枚かと思つてしまいます。

若い時には、時間なんていくらでもあると思つていました。今日が駄目なら明日がある、明日が駄目なら明後日もある。そんな感じで毎日を過ごしていたような気がします。一日がとても貴重に思えるようになってきたというのは、それだけ時間を意識するようになってきたからでしょうか。

「今日の後には今日なし」、私はこの言葉を大事にしています。今日という瞬間はもう二度と戻つてこない。だから今日という日を無駄にしないで、一日一日を大切に過ごさなければならぬと思つています。

さて、先月18日の日曜日に、護摩堂山に登ってきました。朝5時に駐車場に着いた時には、すでに満杯状態でした。先月号で「花無心」のお話をいたしました。ただただひたすら無心に山道を登り、色鮮やかに咲き誇る紫陽花を鑑賞することができました。当日は、まだ7分咲き程度ではありませんでしたが、山頂手前の斜面の彩りは、まさに息を呑む美しさでした。

多くの人達に愛される護摩堂山を、これからもしっかりと整備をしていかなければと、改めて強く感じた次第です。